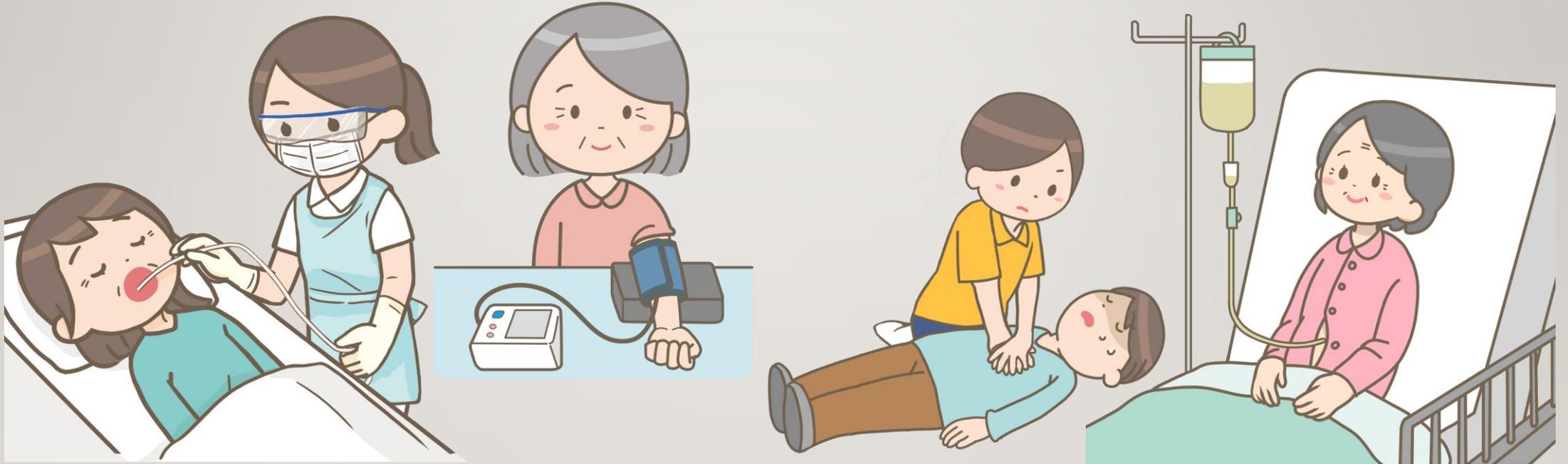


医療的ケアを学ぼう

介護福祉士（あなた）にも出来る医行為がある

医療的ケアで出来ることって何だろう？



医療的ケア = 難しい
と、思っているあなたにこそ見てほしい。

- 医療的ケアは思ったほど難しくくない！

いしょくどうげん

医食同源って知っていますか？

医療も食事も基本となるところは一緒です

だから、食事に例えて紹介します。

ここから先は、分かりやすく
“食事＝フルコース”に例えてご案内します



いらっしやいませ、 医療的ケア I のメニューです



シラバスコース

- 自己紹介
- 目的
- 科目案内
- 授業目的
- 授業内容
- まとめ



授業コース

- 1限目: ガイダンス
- 2限目: 倫理
- 3限目: チームケア
- 4限目: 個人の尊厳
- 5限目: 関連法規
- 6限目: 安全
- 7限目: リスクとは
- 8限目: 救急蘇生
- 9限目: 演習
- 10限目: 感染
- 11限目: 消毒
- 12限目: バイタル
- 13限目: 急変時対応
- 14限目: 筆記テスト
- 15限目: 復習まとめ

フルコースでご案内します 好きなものを選んでください



毎週火曜日3限目(初日9/2、15回)



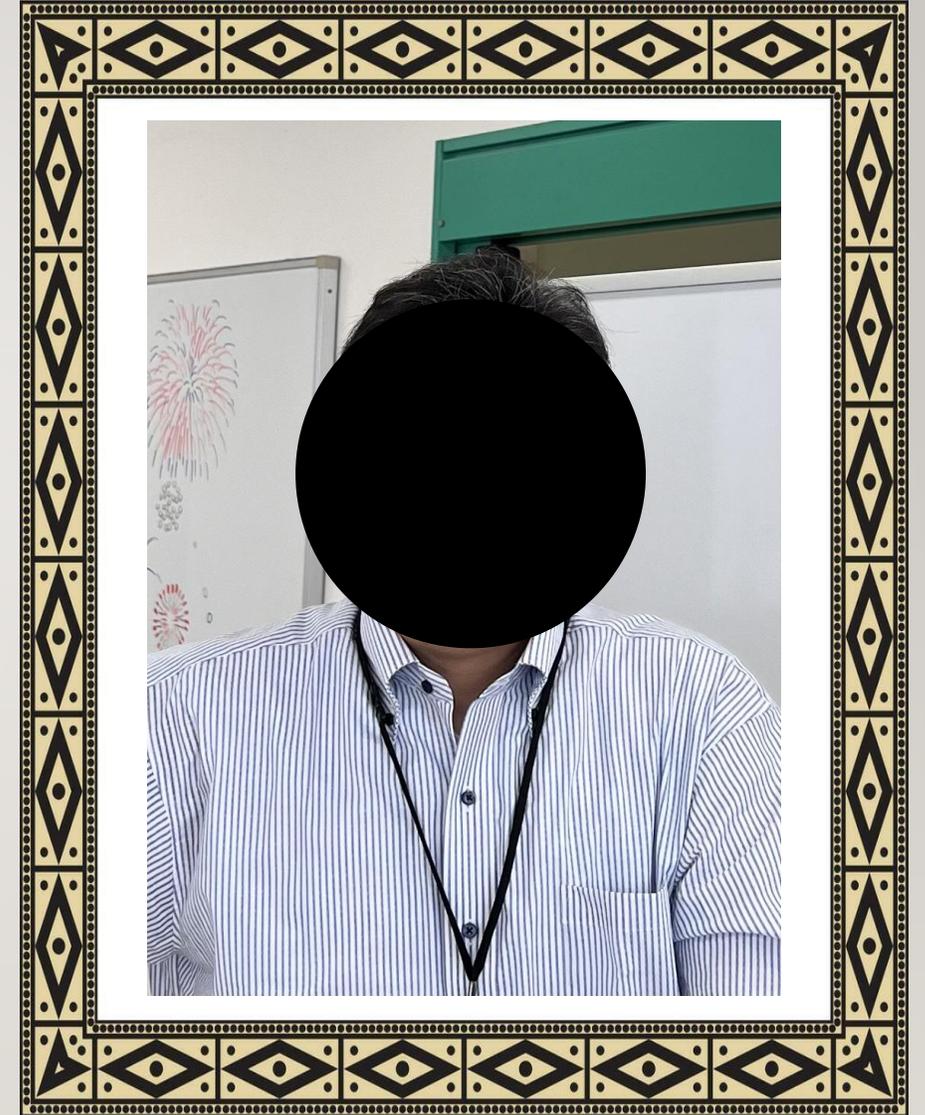
生年：

専門：医療的ケア

資格：介護福祉士・看護師・介護支援専門員

職歴：介護福祉士、生活相談員、看護師

趣味：美味しいものを食べること

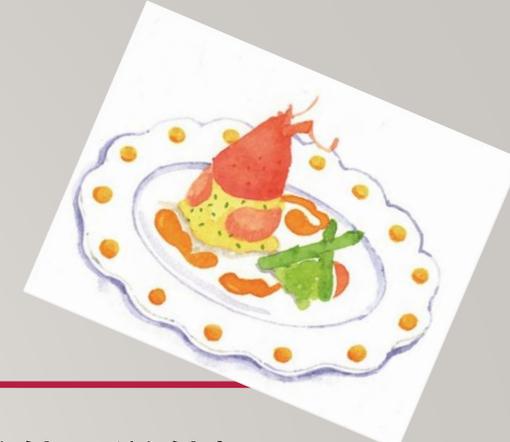


※もう一度料理にタッチで案内所に戻れます



介護福祉士が医療的ケアを学ぶ目的

- 介護福祉士の医療的ケアとは？ 日常生活に必要な血圧測定 ・ 服薬介助 ・ 喀痰吸引 ・ 経管栄養などを指します。
- それらのケアが、安全で適切に実施できるための基礎知識を構築します。
- 感染予防のための清潔、不潔の区別ができ、安全管理ができるようになります。
- 医療的ケアができれば、介護職としての専門性が高くなり、利用者様のケアに役立ちます。専門性の高い介護職を目指す方はぜひ受講してください。



医療的ケアという科目と、他の科目との違い

- 医療的ケアの評価基準・・・講義時間50時間と各演習5回(他の科目は1単位2単位)
- 講義時間50時間 医療的ケアの基本 授業15コマ(1コマ90分)・・・22.5時間
 ↳医療的ケア I +
 喀痰吸引の基本 授業10コマ(15時間) } 合計30時間
 経管栄養の基本 授業10コマ(15時間) (医療的ケア II)
- 演習 「口腔内喀痰吸引」「鼻腔内喀痰吸引」「気管カニューレ喀痰吸引」
 「胃ろう経管栄養」「経鼻経管栄養」5項目各5回(医療的ケア III)

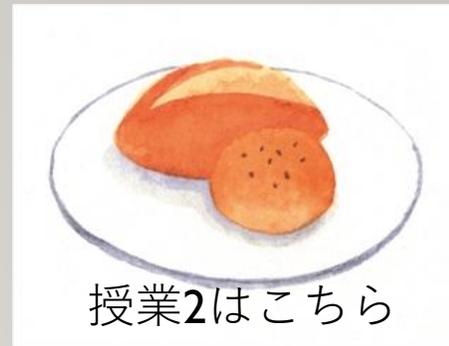


医療的ケア授業の目的

- 医療的ケアのできた背景が理解出来る。
- 安全に実施できるための基礎知識の習得と危機管理ができる。
- 感染予防ができるための知識の習得、スタンダードプリコーション技術の習得する。
- 緊急時の対応、心肺蘇生技術を身につける。



- そのために理解度を測る課題を各授業ごとに出し、皆さんがどれだけ学べたかを確認かめます。



授業①

授業2はこちら

1限目 ガイダンス～医行為

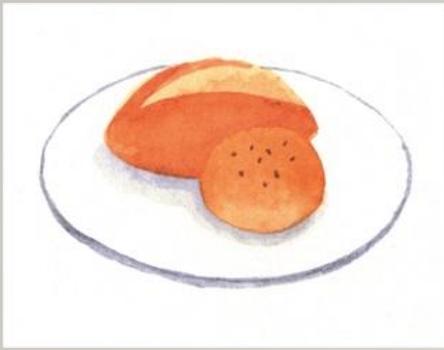
- 「医行為とは何か」と、介護福祉士にできる範囲について話し合いリスト化をする。
- テキストやネット上の情報収集とグループワークにて意見を纏める。

課題: 医行為はどんな行為で介護福祉士は何ができる？

2限目 医療の倫理、介護の倫理を理解

- 医療の倫理、4つの原則が説明でき、医療の倫理を学習して自己の倫理観を確立する。
- 医療の倫理、介護福祉士としての倫理を理解して自分自身の倫理を創る

課題: あなたの倫理はどうする？



授業②

3限目 チームケア

- チーム医療における自分の役割を知り、情報を共有することができる。
- グループワークでチームの構成や場面に合わせた報告の手順を理解できる

課題: チームの中のあなた、誰と相談する？
(気力低下・食欲不振・緊急事態)

4限目 個人の尊厳

- 個人の尊厳を理解して、求められる介護福祉士像を明確にできる
- グループワークで個人を尊厳する行為から導かれる理想の介護福祉士像を創れる

課題: 個人の尊厳・あなたが選ぶ福祉サービス



授業③

5限目 関連法規

- 医療的ケアの法律的概要の理解
- 年表の作成
- 関連図の作成

課題: 医療的ケアを取り巻く制度の関連図を作ろう

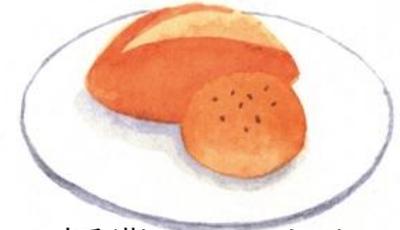
6限目 安全の重要性

- 医療的ケアを必要とする方の生活を考え1日の流れを書き出し学生自身の生活と比較することで、違いの確認を理解する。
- 医療的ケアを必要とする方の生活を考え、1日の流れを書き出し学生自身の生活と比較する

課題: あなたの暮らしとあなたの暮らし(医療的ケアを必要とする方との違い)



授業④



授業5はこちら

7限目 リスクマネージメント

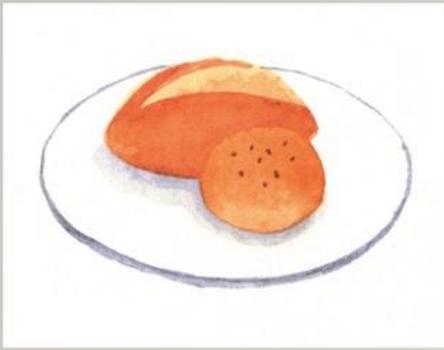
- ヒヤリハット事例を検索し、目的・必要性、予防対策を検討する。
- 安全な生活を送るために、リスク対策を纏める。

課題:安心安全な生活を守るためには？

8限目 救急蘇生

- 救急蘇生法の手順が理解出来る
- 救急蘇生法手順書の作成(一般用・施設用)

課題:人が倒れています！(手順表)の作成



授業6はこちら

授業⑤

9限目 救急蘇生演習

- 救急蘇生法の実施
- AEDの使用手順を理解する
- 胸骨圧迫、AED、通報の手順を理解する

課題:人が倒れていますツ一報しよう

10限目 感染対策

- 感染の3つの要因、感染対策3つの柱を理解し、説明できる
- 感染時の対策マニュアルを作成する

課題:介護福祉士流感染予防法を考えよう



授業⑥



11限目 消毒・滅菌

- 吐物処理方法の体験をする
- ガウンテクニックと留意点を纏める
- 吐物処理手順を纏め体験し、処理するところまでする

課題:消毒液製作法

12限目 バイタルサイン測定

- バイタル測定体験、報告体験をする
- バイタルサインの測定ができる
- バイタルサインの正常を知る

課題:私の平均値(1週間のバイタル測定)



授業⑦



授業8はこちら

13限目

- 急変状態の理解ができる
- 発見から記録までの流れを理解できる
- バイタルサインの正常と異常の違いを理解する。

課題:それぞれの急変時の対応

14限目 確認テスト

- 国家試験同様5者の中から選択
- 開始10分 オリエンテーション
- 60分 テスト
- 残り20分 連絡事項

課題:あなたが考える今後の医療的ケアとは



授業⑧

15限目 まとめ

- 前回のテスト返し
- 間違えた場所の復習、調べ学習
- 国家試験対策

メインディッシュはいかがでしたか





まとめ

- 教科「こころとからだのしくみ」「発達と老化」「介護の基本」「障がいの理解」コミュニケーション技術を履修していることが望ましい。
- 使用教材
 - ①実物教材・体験学習関連②動画資料
 - ③PPT④テキスト⑤参考文献⑥タブレット

評価

- 单元ごと(毎回)の課題(出題内容を記載)
- 最終(学習効果測定)課題の内容(出題内容を記載):筆記試験
- 合否判定基準(評価ルーブリック)
- 受講態度(欠席・遅刻・早退含む)

またお会いできることを
楽しみにしております。



教室で

